平成27年度　ＦＤ活動報告　　現代システム科学域　知識情報システム学類

１　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要

・　FD 活動単独での委員会などを開催してはいないが、毎月の学類会議において、カリキュラム検討やアンケート結果に対する意見交換を行っている。

２　ピア授業参観実施状況

被参観授業科目数 1（「情報とサステイナビリティ」）
被参観授業者数 15（11）
参観者延べ人数（実人数）15（12）

３　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数

４　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数

５　その他取り組みの具体的実施状況

・　「知識情報システム学実習Ⅰ・Ⅱ」「知識情報システム学演習Ⅰ・Ⅱ」の演習内容を教育目標の下で検証し、今後のカリキュラム改善について検討した。その結果、新カリキュラムにおいては、「知識情報システム学演習Ⅰ・Ⅱ」（2 年次）「知識情報システム学演習Ⅲ・Ⅳ」（3 年次）とし、演習Ⅲ・Ⅳについては、時間数を 2 時間から 4 時間に変更した。
・　必修科目や開講年次の変更など、カリキュラムの変更を実施した。
・　学生が個別に取り組み成果発表を行う科目である知識情報システム学演習Ⅱおよび卒業研究に関して、実施内容の振り返りを行い、次年度への検討材料とした。
・　1 年次終了時に授業アンケートを実施し、1 年次開講科目に対する学修状況、満足度、改善点などを調査した。

平成 27 年度　FD 活動実施報告　環境システム学類

１．大阪府立大学・大学院ＦＤセミナーへの積極的参加

２．学類内ＦＤセミナー

- 学類会議後に「セミナー」を実施：学類教員が相互に研究成果を共有し、研究・教育の資質の向上をはかる。平成 25 年度より以下のとおり実施

第 13 回	H27.4.2	高橋　幸治	人間	8	心理療法の研究
		工藤　宏司	社会	9	「ひきこもり」社会問題化に関する議論
第 14 回	H27.7.2	遠藤　崇浩	環境	9	株井戸について
第 15 回	H27.10.1	岡本　真彦	人間	9	学習環境のデザイン？
第 16 回	H27.11.5	水野　真彦	社会	10	経済地理学
第 17 回	2015/12/3	大塚　耕司	環境	10	海洋深層水を用いた藻場修復
		川原　稔久	人間	10	箱庭とロールシャッハ法について
第 18 回	2016/1/7	山本　由美子	社会	11	母体血を用いた出生前検査（NIPT）と「臨床研究」システムが示すもの
		興津　健二	環境	11	音と泡を利用する科学 －有害有機化学物質の分解・無害化－
第 19 回	2016/2/10	髙木　佐知子	社会	12	談話分析について －アプローチと実践例－
		斎藤　憲	社会	13	エウクレイデス『原論』の用語・語法の分析によって追加部分を判別する試み

３．ピア参観的活動、および授業運営の相互共有

- 環境システム学類授業は、文理融合型を目指し、複数教員の担当による運営が不可欠である。そのため、たんなるピア「参観」にとどまらず、複数教員が授業の運営に緊密なコミットメントと調整を実施している。以下は、その授業の一覧：

  「環境システム学演習Ⅰ・Ⅱ」では、学生による報告会に全教員が参加し、学修成果の確認を行うと共に，今後のカリキュラム改善について検討した。

  「環境システム学演習 III・IV」では、H26 年度より開講にそなえ、カリキュラムについて、課程内の全教員で内容の検討を行った。

  「社会調査実習Ⅰ・II」「環境とサステイナビリティ」「環境共生科学入門Ⅰ・Ⅱ」「社会共生科学入門Ⅰ・Ⅱ」「地球環境学」「環境アセスメント学Ⅰ・Ⅱ」「環境再生学」「心理療法論」では、担当の複数の教員がカリキュラムについて緊密な連携のもと授業を運営している。

４．学習・教育支援サイト（ポートフォリオ)、および授業支援システムの積極的利用の学生に対する呼びかけを継続的に実施

５．カリキュラムの検討を行い、専門基礎科目・専門科目履修課程・卒業要件などを見直した。

平成27年度　ＦＤ活動報告　　現代システム科学域　マネジメント学類

１　ＦＤ活動の実施体制、取り組みの概要

・　マネジメント学類教育運営委員会が主体となり、マネジメント学類全体のFD活動を実施している。

・　マネジメント学類教育運営委員会では、ピア授業参観の運営、カリキュラムの改善などを行っている。

２　ピア授業参観実施状況

期間	被参観授業数	参観者数	特記事項
前期	3	3	
後期	7	7	
年度合計	10	10	

３　ＦＤに関する講演会、セミナー、ワークショップの開催状況

開催日	内容（タイトル）	種別	参加者数

４　ＦＤに関する会議、委員会の開催状況

会議・委員会名	内容	回数	委員数
マネジメント学類教育運営委員会	マネジメント学類全体の FD 活動を企画、実施	9	8

５　その他取り組みの具体的実施状況

・　「成績評価ガイドライン」（現代システム科学域として統一）と経済学部「成績評価ガイドライン」を確認し、説明した。

・　学生の視点に立ちシラバスを活用する方策等に関する授業運営課題と教育改善事例の共有

➢　全学的な教育改革専門委員会におけるシラバスの活用及び時間外学習に関する議論を踏まえ、学部・学類における関連課題を、経済学部及びマネジメント学類教育運営委員会の場を中心に議論した。毎年のように公認会計士試験現役合格が認められていることがその一端を示すように、経済学部及びマネジメント学類では授業運営での成果が見られるが、さらなる授業改善をめざし、進路状況や授業内容などを鑑みた個別の事情を全学的な観点から再検討した。経済学等の社会科学の大人数授

業と理工系の少人数の実験との違い、卒業論文の位置づけ、期末筆記試験の実施、教育改革専門委員会アンケートの妥当性や対応などを検討した。

- 授業評価アンケートへの積極的参加の学生に対する呼びかけ、並びに各教員によるアンケートの分析とコメントを促進した。
- 卒業論文について検討した。
- 年間の GPC 統計に基づいての、成績評価に関する検討を実施した。
- マネジメント学類のカリキュラムの再検討を実施した。
- マネジメント学類の次年度カリキュラムに沿った FD 活動を検討した。
- 早期卒業について検討し、実施要領を作成した。

H28年度　現代システム科学域のFD活動

＜現代システム科学域＞
１．昨年度同様，学域共通の必修3 科目を対象に以下の活動を実施する．
・対象科目：情報とサスティナビリティ，環境とサスティナビリティ，マネジメントとサスティナビリティ
内容：
・ピア授業参観の実施
・講義資料の学類内での共有
・上記に基づいた次年度講義内容の検討と改善

２．教育制度の整備
・早期卒業制度の検討・実施
・編入学制度の導入に向けたカリキュラムの調査・検討

＜知識情報システム学類＞
１．ピア授業参観の科目拡大
２．知識情報システム演習IIのポスター発表の実施
３．卒業研究の発表会の実施
４．カリキュラム変更に伴い、H29年度以降に開講される「知識情報システム学演習I・II・III・IV」の実施方法等についての検討

＜環境システム学類＞
１．大阪府立大学・大学院ＦＤセミナーへの積極的参加
２．学類内ＦＤセミナーを継続
３．ピア参観的要素を含む、授業運営の共有化と資質向上のいっそう促進
４．学習・教育支援サイト（ポートフォリオ）、および授業支援システムの積極的利用を継続
５．カリキュラムの再検討（卒業論文の提出要領の検討・卒業要件の再検討等）
６．入試問題の再検討（出題の傾向性について継続的検討実施）
７．キャリアサポートのあり方検討

＜マネジメント学類＞

1. 大阪府立大学ＦＤセミナーへの積極的参加
2. 学類内ＦＤセミナー
    - マネジメント学類カリキュラムの改正の情報共有と学生への説明
    - 授業運営課題と教育改善事例の共有
3. ピア授業参観の積極的推進
4. 授業評価アンケートへの積極的参加の学生に対する呼びかけ、並びに各教員によるアンケートの分析とコメント
5. 卒業論文のあり方についての検討
6. 年間の GPC 統計に基づいての、成績評価に関する検討
7. 早期卒業などの観点からのカリキュラムの再検討
8. 次年度カリキュラムに沿った FD 活動の検討